

# 平成30年度 グローバル・リーダー養成ワークショップ

平成30年7月24日（火）にグローバル・リーダー養成ワークショップを実施しました。1年生から3年生までの意欲あふれる生徒28名が参加しました。

前半のワークショップでは、グループ学習や講義、ノンフィクションドキュメンタリー映像をとおして、途上国の女の子が抱える深刻な問題について学びました。

後半のワークショップでは、「女性に対する差別」をテーマに、ネイティブの講師と英語でディスカッションを行いました。

## ワークショップ①

### 国際 NGO プラン・インターナショナル 内山雄太先生による講義

途上国には10代前半での早すぎる結婚・出産を余儀なくされる女の子たちが数多くいます。女の子たちは「貧困」に加え、「ジェンダーの不平等」から、二重の困難を強いられています。



内山先生から、プランの取組、SDGs(持続可能な開発目標)、Because I am a Girl キャンペーン、高校生にもできるアクションなどを紹介していただきました。



### グループ学習：「シータちゃんの日」

途上国の小さな村に住む12歳のシータちゃんは、きょうだいの世話、水くみ、農作業の手伝いなどに追われる一方、同年齢の日本の女の子あいちゃんは、学校へ行き、友達と遊んだりピアノのお稽古へ行ったりします。



「一日のスケジュールを色分けしてみたら、シータちゃんには家の仕事ばかりで、学校に行ったり遊んだりする時間は全くありません。」

シータちゃんの日とあいちゃんの日を比べて、気付いたこと、考えたこと、疑問に思ったことを発表し合いました。



「シータちゃんの暮らす地域では、女の子が学校に行かないのが当たり前になっているようです。」

## ワークショップ②「英語ディスカッション」

本校A L Tのクリスティン先生が司会進行を務めて、「女性に対する差別」に関する新聞記事を読み、意見交換を行いました。



講師の先生への質問タイムから始まった後半のワークショップ。出身、趣味、好きな食べ物を聞いて、打ち解けていきました。その後、自分のグループの講師の先生について、全体に紹介しました。



Q：女性への差別に関する新聞記事を読んでどう思いましたか？



「女性への差別をなくそうとしている今日でも、女性の活躍を阻止する法律があることに驚きました。」

Q：もしも女性のための法律をあなたが作れるとしたら、どんな法律を作りますか？



「男性も女性も育児休暇を必ず取らなければならない、という強い法律を作ります」など、様々なアイデアが話し合われました。

### 参加者の感想から

- ◆世界の現状は、私が想像していたよりもはるかにひどいものだと知った。
- ◆世界には、10代前半で学校にも通えず、結婚しなければならない女の子がいるということに衝撃を受けた。
- ◆性差別や、女性の社会進出について、参加者全体で意見を交換し合えたことがとても新鮮で、自分にとって大きくプラスになった。
- ◆私も世界の女性の一人として、女性の地位の向上に取り組みたいと思った。
- ◆ネイティブスピーカーの先生が来て下さったので、自分の英語力を試す良い機会になった。自分の考えを英語にすることが難しかったので、練習していきたいと思った。
- ◆グループの先輩が、英語を使って、様々なアイデアを話しているのを見てすごいと思った。私も先輩のようになりたいと強く思った。